

会社概要・株式の状況 (2014年9月30日現在)

商号	フィンテック グローバル株式会社
設立	1994年12月7日
資本金	33億5,156万1,543円
連結従業員数	111名
連結子会社数	11社
発行済株式の総数	147,196,800株
単元株式数	100株
株主数	14,141名

役員 (2014年12月19日現在)

代表取締役社長	玉井 信光
取締役会長	ロバート・ハースト
取締役	鷲本 晴吾 (経営管理部/事業統括部管掌 上席執行役員)
	三橋 透 (ベターライフサポートホールディングス(株)代表取締役)
	山中 秀介 (フィンテック グローバルトレーディング(株)代表取締役)
	木村 喬 (社外取締役)
常勤監査役	二宮 幸一
監査役(社外)	萩原 啓史
	大山 亨

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	12月
基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ市場(証券コード:8789)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://www.fgi.co.jp/ir/download/
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日祝日を除く)

フィンテック グローバル株式会社

金融商品取引業(第二種金融商品取引業、投資助言・代理業)
登録番号: 関東財務局長(金商)第1469号

<http://www.fgi.co.jp/>

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28
虎ノ門タワーズオフィス 19F
Tel. 03-5733-2121(代表)
Fax.03-5733-2124

FGI

FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

フィンテック グローバル株式会社

証券コード: 8789

第 20 期

事業報告書
2013.10.1～2014.9.30

投資銀行業務と企業投資を軸に、
着実かつ複合的に事業を
拡大しています。



2014年9月期におきましては、投資銀行業務において再生可能エネルギー関連をはじめとするアレンジメント業務が好調に推移するとともに、大型投資事案の回収により、前連結会計年度に比べ売上高、利益とも大幅に伸ばいたしました。当社グループは“企業の成長、事業拡大に貢献するプライベート型投資銀行”を命題に掲げ、ファイナンスアレンジメント等を行う投資銀行業務と企業投資を事業の軸としています。特に近年は“地方基盤強化”をキーワードに地域産業の振興・支援に積極的に取り組み、また企業投資においては資金供与に留まらず経営管理業務を提供するなど中長期的な観点で投資企業の企業価値向上を図る“ハンズオン型企業投資”を行っています。

この一環として、海外企業とのジョイントベンチャーや、大型案件を含むライフサイエンスにおける創薬・医療の研究支援及びエレクトロニクス・情報通信の先端技術開発などのプロジェクトへの投資を継続しております。また、個人向け不動産事業を主体とするベターライフサポート事業への取り組みや、世界的に有名なキャラクターであるムーミンを主題としたテーマパークを設立・運営する(株)ムーミン物語への出資及び事業支援など、複合的に事業を展開しています。

一方、懸案であった再保険子会社Crane Reinsurance Limitedにおける仲裁が2014年4月に和解となり、8月に清算が終了しました。また、2014年3月に発行した新株予約権の権利行使が進み、成長が見込まれる分野に機動的に投資していく事業資金として、総額で18.3億円を調達しました。今後も、事業成長に向けて各種プロジェクトを着実に推進して参ります。

株主、投資家の皆様には、何卒一層のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2014年12月
代表取締役社長

玉井 信光

投資銀行業務と企業投資を両輪として、顧客企業の事業拡大を支援。
推進プロジェクトは多様化・深化。
B to Bを中心とする国内地域支援プロジェクト、海外展開に加えて、
B to C (個人顧客向け) 事業も拡大。



FGIの地域貢献

FGIは、金融技術で
地域社会における永続的な存在意義の確立に力を入れています。



「地方公会計研究センター」との連携を強化

- 2013年に設立された一般社団法人地方公会計研究センターは、地方公会計制度の更なる改善・発展に向けた団体で全国の有力会計事務所(37事務所)が参画しています。
- 2014年11月、FGIはグループ企業(株)パブリック・マネジメント・コンサルティングの株式の51%を同法人に譲渡。今後FGIグループは同法人と連携した取り組みをさらに強化いたします。

FGIの投資

投資分野や企業はさらに広がっていきます。
投資先の価値を高める支援をしています。

FGIは成長力溢れる企業に加え、潜在的収益力が高いプロジェクトやアセットに投融資しています。再生可能エネルギーなどの分野にも投資することで、投資銀行業務の案件組成が加速します。今後も、有力な投資分野、投資先を発掘するとともに、投資先の価値を高める支援をして参ります。



投資銀行事業

●**投資銀行業務**では、「地方」を基盤としたプロジェクトである、「地方自治体の財政健全化支援」、「再生可能エネルギー事業のアレンジメント」、「地方中心市街地の再開発及び地域産業支援」など地方をより活性化させるプロジェクトに注力した結果、手数料収入が大幅に増加しました。特に再生可能エネルギー事業のアレンジメントにおいては、有力なEPC事業者(設計-engineering、機器調達-procurement、建設-constructionを含むプロジェクト事業者)との協働が奏功したことで各地の優良案件を多数確保出来ていることに加えプリンシパルファイナンスを実施したことで開発が加速しております。このような活動の結果、地方のニーズを的確に捉えることが可能になり、地方の市民ファンドのアレンジメントや地域金融機関から資本増強策のアレンジメントを受託するなど、地方での業務受託が多くなっております。また、自治体保有の老朽化したインフラ資産の実態を把握し、証券化等のオフバランス提案を実施する体制が整ってきております。

●**企業投資**では出資する投資事業組合から大型の投資回収に至りました。国内外の多くの成長企業に対し投資を継続していますが、当期はベンチャーキャピタルファンドであるFINTECH GIMV FUND,L.P.(FGF)やムーミンテーマパーク事業の(株)ムーミン物語等へ投資実行いたしました。営業投資有価証券の残高は、大型の投資回収があったにもかかわらず、前期末に比べ702百万円増加し2,319百万円となりました。引続き、ベンチャーキャピタルファンドを通じたライフサイエンスにおける創薬・医療の研究支援及びエレクトロニクスでの先端技術の開発などのプロジェクトへの投資、エネルギー関連分野、アミューズメント・フード関連分野をはじめとした、有力な成長企業、潜在的収益力の高い企業へ投資を実施して参ります。

●**アセットマネジメント業務**では不動産アセットマネジメントでエグジットを迎えた案件があり、一時的に受託資産残高が減少したものの開発フェーズの住宅用地や高齢者向け住宅など新規案件を

2014年9月期セグメント別業績
(単位：千円)

	売上高※	営業損益
投資銀行事業	1,776,581	1,369,103
不動産事業	1,093,159	△32,413
建設事業	979,881	17,515
その他	74,985	△28,323
合計	3,924,608	1,325,882
調整額	△13,303	△770,315
連結損益計算書計上額	3,911,305	555,567

※売上高はセグメント間取引を含む。

受託したことにより、受託資産残高は前期末比で13億円増加し、73億円となりました。

不動産事業・建設事業

●**職域の福利厚生サービス**については、景気回復効果等により持ち家サービス部門が業績を牽引しました。特に期首より持ち家サービスの提供を開始した従業員43万人の大口顧客においては想定以上に成約へ至っており、今後も更なる期待が持てる結果となりました。

●**不動産仲介業務**は、広告出稿を積極的に展開する中、職域へのアプローチが成約率向上に寄与し始めています。不動産販売業務では、戸建用地の取得を進め、当期末の販売用不動産は221百万円、仕掛販売用不動産は609百万円(建設事業における不動産を含む)となり、取得用地の一部売却が業績に寄与しました。

●**建設事業**は、当期(平成26年3月～平成26年9月)の受注高は順調に推移し、986百万円となり、収益管理を徹底した結果、売上高は979百万円、営業利益は17百万円となり、黒字を確保しました。

その他

●**公会計事業**は、総務省の地方公会計制度の整備方針、公共施設等総合管理計画の策定推進を受けて追い風の事業環境であります。同時に標準的なシステムを総務省が提供するとしたことで、詳細決定まで様子見の自治体も多く、コンサルティングの受注が進みませんでした。

連結財務諸表

連結貸借対照表

科目	当期末 (2014年9月30日現在)	前期末 (2013年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	6,591,999	4,148,573
現金及び預金	2,034,917	1,644,879
受取手形及び売掛金	255,142	110,261
完成工事未収入金	247,275	—
営業投資有価証券	2,319,357	1,617,268
営業貸付金	857,021	826,118
販売用不動産	221,332	—
仕掛販売用不動産	609,460	—
未成工事支出金	2,387	—
繰延税金資産	4,176	6,113
その他	324,956	143,464
貸倒引当金	△284,028	△199,533
固定資産	860,247	622,164
有形固定資産	121,373	130,167
無形固定資産	164,331	201,864
投資その他の資産	574,541	290,133
資産合計	7,452,246	4,770,738
(負債の部)		
流動負債	1,459,524	419,295
支払手形及び買掛金	254,826	26,945
工事未払金	65,396	—
短期借入金	628,100	26,000
1年内償還予定の社債	16,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	13,068	—
未払法人税等	31,466	11,747
未成工事受入金	55,867	—
賞与引当金	32,083	24,376
その他	362,717	314,226
固定負債	457,877	1,635,207
社債	24,000	40,000
長期借入金	226,591	—
繰延税金負債	45,797	64,919
退職給付に係る負債	148,926	109,966
保険契約準備金	—	1,406,936
その他	12,562	13,384
負債合計	1,917,402	2,054,502
(純資産の部)		
株主資本	5,507,738	2,688,361
資本金	3,351,561	2,312,517
資本剰余金	929,373	12,490
利益剰余金	1,226,803	363,446
自己株式	—	△92
その他の包括利益累計額	△573	—
新株予約権	4,168	2,050
少数株主持分	23,510	25,824
純資産合計	5,534,844	2,716,236
負債・純資産合計	7,452,246	4,770,738

連結損益計算書

科目	当期 (2013年10月1日から 2014年9月30日まで)	前期 (2012年10月1日から 2013年9月30日まで)
売上高	3,911,305	1,603,491
売上原価	1,513,286	135,152
売上総利益	2,398,018	1,468,338
販売費及び一般管理費	1,842,451	1,500,070
営業利益又は営業損失(△)	555,567	△31,732
営業外収益	165,607	134,774
営業外費用	36,296	15,007
経常利益	684,878	88,035
特別利益	284,087	113,762
特別損失	20,990	16,307
税金等調整前当期純利益	947,975	185,490
法人税等	14,942	6,084
少数株主損益調整前当期純利益	933,033	179,405
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,213	△3,514
当期純利益	923,819	182,920

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (2013年10月1日から 2014年9月30日まで)	前期 (2012年10月1日から 2013年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,208,882	△464,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	509,353	85,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,065,717	△128,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,850	91,391
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	380,038	△415,790
現金及び現金同等物の期首残高	1,644,879	2,522,754
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△462,084
現金及び現金同等物の期末残高	2,024,917	1,644,879